

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード:043101) ドイツ語 I MT(1) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月4,木3	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> :大教センター <b>DPコード</b> :abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> 最上 英明	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の成績が評価が中心になるが(90%)、授業への取り組み、小テスト、課題の提出状況(10%)を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業計画】</b> 第1回:Lektion 1 ドイツ語圏の国々 第2回:アルファベット、発音 第3回:動詞の人称変化 第4回:Dialogのまとめ 第5回:Ubungen、Lesetext 第6回:Lektion 2 名詞とは 第7回:名詞の性・数 第8回:名詞の格変化 第9回:Dialogのまとめ 第10回:Ubungen、Lesetext 第11回:Lektion 3 複数形とは 第12回:名詞の複数形 第13回:複数の格変化 第14回:Dialogのまとめ 第15回:Ubungen、Lesetext、中間試験 第16回:Lektion 4 動詞とは 第17回:不規則動詞 第18回:命令形 第19回:Dialogのまとめ			

第20回：Ubungen、Lesetext  
第21回：Lektion 5 前置詞とは  
第22回：前置詞の格変化（1）3格支配、4格支配  
第23回：前置詞の格変化（2）3・4格支配  
第24回：Dialogのまとめ  
第25回：Ubungen、Lesetext  
第26回：Lektion 6 冠詞類とは  
第27回：定冠詞類  
第28回：不定冠詞類  
第29回：Dialogのまとめ  
第30回：Ubungen、Lesetext  
定期試験

この科目は全回対面授業を行います。

**【授業及び学習の方法】**

この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『ベルリンに夢中』  
ベアーテ・ヴォンデ他著（同学社）

オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、2人、または2人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043102) ドイツ語 I JA(2) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準</b> 学士: 基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> 最上 英明	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の成績が評価が中心になるが(90%)、授業への取り組み、小テスト、課題の提出状況(10%)を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業計画】</b> 第1回: Lektion 1 ドイツ語圏の国々 第2回: アルファベット、発音 第3回: 動詞の人称変化 第4回: Dialogのまとめ 第5回: Übungen、Lesetext 第6回: Lektion 2 名詞とは 第7回: 名詞の性・数 第8回: 名詞の格変化 第9回: Dialogのまとめ 第10回: Übungen、Lesetext 第11回: Lektion 3 複数形とは 第12回: 名詞の複数形 第13回: 複数の格変化 第14回: Dialogのまとめ 第15回: Übungen、Lesetext、中間試験 第16回: Lektion 4 動詞とは 第17回: 不規則動詞 第18回: 命令形 第19回: Dialogのまとめ			

第20回：Übungen、Lesetext  
第21回：Lektion 5 前置詞とは  
第22回：前置詞の格変化 (1) 3格支配、4格支配  
第23回：前置詞の格変化 (2) 3・4格支配  
第24回：Dialogのまとめ  
第25回：Übungen、Lesetext  
第26回：Lektion 6 冠詞類とは  
第27回：定冠詞類  
第28回：不定冠詞類  
第29回：Dialogのまとめ  
第30回：Übungen、Lesetext  
定期試験

この科目は全回対面授業を行います。

**【授業及び学習の方法】**

この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『ミュンヘンに夢中』  
アンドレア・ラーブ他著（同学社）

オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、2人、または2人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043103) ドイツ語 I JE(3) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割 2023年度</b> 前期水2, 金4	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準 学士:基礎科目</b> <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局:</b> 大教センター <b>DPコード:</b> abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価(70%)が中心になるが、小テストや宿題の提出状況(30%)を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業の方法】</b> この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
<b>【授業計画】</b> 第1回: ガイダンス 第2回: Lektion 1 ドイツ語圏の国々・基数 第3回: Lektion 1 アルファベット・発音 第4回: Lektion 1 規則動詞と人称変化 第5回: Lektion 1 練習 第6回: Lektion 2 不規則動詞 第7回: Lektion 2 不定代名詞man 第8回: Lektion 2 形容詞・否定疑問文 第9回: Lektion 2 練習			

第10回: Lektion 3 名詞の性と冠詞・1格と4格/  
第11回: Lektion 3 指示代名詞・不定代名詞  
第12回: Lektion 3 命令形と依頼表現  
第13回: Lektion 3練習  
第14回: まとめ  
第15回: 中間試験  
第16回: Lektion 4 所有冠詞・定冠詞類  
第17回: Lektion 4 3格と2格  
第18回: Lektion 4 非人称の es  
第19回: Lektion 4 練習  
第20回: Lektion 5 前置詞(1)  
第21回: Lektion 5 前置詞(2)  
第22回: Lektion 5 前置詞(3)  
第23回: Lektion 5 練習  
第24回: Lektion 6 話法の助動詞  
第25回: Lektion 6 未来推量の助動詞  
第26回: Lektion 6 複合動詞 (分離・非分離)  
第27回: Lektion 6 練習  
第28回: まとめ・練習  
第29回: まとめ・練習  
第30回: まとめ・練習  
第31回: 期末試験

この科目は対面授業と遠隔授業を行います。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著 (同学社)

オフィスアワー 木曜日3時限目

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード:043104) ドイツ語 I JE(4) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割 2023年度</b> 前期水2, 金4	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, アルベルスマリウス	<b>関連授業科目</b>		
	<b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て			

または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

**教科書・参考書等**

『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。

**オフィスアワー 授業後**

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043105) ドイツ語 I JE(5) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1~	
	<b>水準</b> 学士: 基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし	
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2		
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>			
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習				
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。				
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。				
<b>到達目標</b>				
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。				
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価(70%)が中心になるが、小テストや宿題の提出状況(30%)を総合して成績評価を行う。				
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。				
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>				
<b>【授業の方法】</b> この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。				
<b>【授業計画】</b> 第1回: ガイダンス 第2回: Lektion 1 ドイツ語圏の国々・基数 第3回: Lektion 1 アルファベット・発音 第4回: Lektion 1 規則動詞と人称変化 第5回: Lektion 1 練習 第6回: Lektion 2 不規則動詞 第7回: Lektion 2 不定代名詞man 第8回: Lektion 2 形容詞・否定疑問文 第9回: Lektion 2 練習				

第10回: Lektion 3 名詞の性と冠詞・1格と4格/  
第11回: Lektion 3 指示代名詞・不定代名詞  
第12回: Lektion 3 命令形と依頼表現  
第13回: Lektion 3練習  
第14回: まとめ  
第15回: 中間試験  
第16回: Lektion 4 所有冠詞・定冠詞類  
第17回: Lektion 4 3格と2格  
第18回: Lektion 4 非人称の es  
第19回: Lektion 4 練習  
第20回: Lektion 5 前置詞(1)  
第21回: Lektion 5 前置詞(2)  
第22回: Lektion 5 前置詞(3)  
第23回: Lektion 5 練習  
第24回: Lektion 6 話法の助動詞  
第25回: Lektion 6 未来推量の助動詞  
第26回: Lektion 6 複合動詞 (分離・非分離)  
第27回: Lektion 6 練習  
第28回: まとめ・練習  
第29回: まとめ・練習  
第30回: まとめ・練習  
第31回: 期末試験

この科目は対面授業と遠隔授業を行います。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著 (同学社)

オフィスアワー 木曜日3時限目

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード:043107) ドイツ語 I M(7) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月3,木2	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, アルベルスマリウス	<b>関連授業科目</b>		
	<b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。			
上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)~(20) Lektion 4 (21)~(25) Lektion 5 (26)~(30) Lektion 6 (31) 期末試験			

この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て  
または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

**教科書・参考書等**

『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。

**オフィスアワー 授業後**

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

ナンバリングコード B2DEU-abxG-10-Lx2 授業科目名 (時間割コード: 043108) ドイツ語 I M(8) German I German I	科目区分 外国語科目	時間割 2023年度 前期月3, 木2	対象年次 1～
	水準 学士: 基礎科目 分野 ドイツ語	提供部局: 大教センター DPコード: abx	対象学生 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	授業形態 講義	単位数 2	
担当教員名 ノイマン フロリアン, 今崎 高秀	関連授業科目 履修推奨科目		
学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b>			
この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b>			
異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b>			
中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b>			
成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第1課～第6課 (15) 中間試験 (16)～(30) 第7課～第11課 (31) 期末試験			
※受講生の理解度・習熟度に応じて進度を早めます。			
※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
<b>【自学自習のためのアドバイス】</b>			

教科書の練習問題を解く際は教科書に直接書き込まない様にして下さい。後で復習（見直し）ができるよう、別の紙に答えだけ書くようにしましょう。  
授業では教科書のドイツ語（例文および練習問題）を読んでもらいますので、正しい発音で読めるよう、教科書付属のCDで発音の練習をして下さい。

#### 教科書・参考書等

『プロムナード やさしいドイツ語文法（改訂版・CD付）』

著者：荻原耕平・山崎泰孝

白水社

※辞書については授業で指示します。

**オフィスアワー** オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。

#### 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043109) ドイツ語 I M(9) German I German I	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1~	
	<b>水準</b> 学士: 基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし	
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2		
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, 渡部 祐加	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>			
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)				
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。				
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。				
<b>到達目標</b>				
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 3. ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。				
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題・数回の課題(2000字程度のレポート)の内容を特に重視する)				
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。				
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>				
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。  この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。				
(1) ガイダンス (2)~(5) Lektion 1 (6)~(9) Lektion 2 (10)~(14) Lektion 3 (15) 中間試験				

(16)～(20) Lektion 4  
(21)～(25) Lektion 5  
(26)～(30) Lektion 6  
(31) 期末試験

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**【特に意欲のあるものへの対応】**

特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインあるいは対面で補講を行う場合があります。

また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの（独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等）に対しても個別に学習のアドバイスをする場合があります。

**教科書・参考書等**

必携ドイツ文法総まとめ

中島 悠爾（著）、朝倉 巧（著）、平尾 浩三（著）

白水社

**オフィスアワー** その都度質問・相談はメール、その場で対応する。（質問・相談がある場合は、なるべく授業後すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる）。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。

課題は授業内で2～3回課すことがあるが、1度も提出しない場合は不可とする。

その他、個別のケースに対応する場合がありますので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メールで渡部まで相談すること（重要な用件は特にメール等文章で相談してほしい）。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043201) ドイツ語Ⅱ MT(1) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期月4, 木3	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> 最上 英明	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の成績が評価が中心になるが(90%)、授業への取り組み、小テスト、課題の提出状況(10%)を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業計画】</b> 第1回: Lektion 7 複合動詞 第2回: 分離動詞 第3回: 非分離動詞、接続詞 第4回: Dialogのまとめ 第5回: Übungen、Lesetext 第6回: Lektion 8 話法とは 第7回: 話法の助動詞 第8回: 未来時制 第9回: Dialogのまとめ 第10回: Übungen、Lesetext 第11回: Lektion 9 時制とは 第12回: 動詞の3基本形 第13回: 動詞の過去人称変化 第14回: Dialogのまとめ 第15回: Übungen、Lesetext、中間試験 第16回: Lektion 10 完了形とは 第17回: 現在完了形 第18回: 完了助動詞の選択 第19回: Dialogのまとめ			

第20回：Ubungen、Lesetext  
第21回：Lektion 11 形容詞とは  
第22回：形容詞の格変化  
第23回：形容詞の比較級・最上級  
第24回：Dialogのまとめ  
第25回：Ubungen、Lesetext  
第26回：Lektion 12 受動態とは  
第27回：他動詞と自動詞の受動態  
第28回：再帰動詞  
第29回：Dialogのまとめ  
第30回：Ubungen、Lesetext  
定期試験

この科目は全回対面授業を行います。

**【授業及び学習の方法】**

この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『ベルリンに夢中』  
ベアーテ・ヴォンデ他著（同学社）

オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、2人、または2人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043202)  ドイツ語Ⅱ JA(2) German II  German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1～	
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし	
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2		
<b>担当教員名</b> 最上 英明	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>			
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)				
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。				
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。				
<b>到達目標</b>				
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。				
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の成績が評価が中心になるが(90%)、授業への取り組み、小テスト、課題の提出状況(10%)を総合して成績評価を行う。				
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。				
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>				
<b>【授業計画】</b> 第1回: Lektion 7 複合動詞 第2回: 分離動詞 第3回: 非分離動詞、接続詞 第4回: Dialogのまとめ 第5回: Übungen、Lesetext 第6回: Lektion 8 話法とは 第7回: 話法の助動詞 第8回: 未来時制 第9回: Dialogのまとめ 第10回: Übungen、Lesetext 第11回: Lektion 9 時制とは 第12回: 動詞の3基本形 第13回: 動詞の過去人称変化 第14回: Dialogのまとめ 第15回: Übungen、Lesetext、中間試験 第16回: Lektion 10 完了形とは 第17回: 現在完了形 第18回: 完了助動詞の選択 第19回: Dialogのまとめ				

第20回：Ubungen、Lesetext  
第21回：Lektion 11 形容詞とは  
第22回：形容詞の格変化  
第23回：形容詞の比較級・最上級  
第24回：Dialogのまとめ  
第25回：Ubungen、Lesetext  
第26回：Lektion 12 受動態とは  
第27回：他動詞と自動詞の受動態  
第28回：再帰動詞  
第29回：Dialogのまとめ  
第30回：Ubungen、Lesetext  
定期試験

この科目は全回対面授業を行います。

**【授業及び学習の方法】**

この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材（プリントなど）を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『ミュンヘンに夢中』  
アンドレア・ラーブ他著（同学社）

オフィスアワー 水曜日1時限目、またはメール等での相談。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、2人、または2人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043203) ドイツ語Ⅱ JE(3) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期水2, 金4	<b>対象年次</b> 1~
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価(70%)が中心になるが、小テストや宿題の提出状況(30%)を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業の方法】</b> この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
<b>【授業計画】</b> 第1回: 前期のまとめ 第2回: Lektion 7 現在完了形 第3回: Lektion 7 時刻 第4回: Lektion 7 動詞の3基本形 第5回: Lektion 7 練習 第6回: Lektion 8 過去形 第7回: Lektion 8 序数 第8回: Lektion 8 履歴書 第9回: Lektion 8 練習			

第10回: Lektion 9 再帰代名詞  
第11回: Lektion 9 形容詞 (1)  
第12回: Lektion 9 形容詞 (2)  
第13回: Lektion 9 練習  
第14回: まとめ  
第15回: 中間試験  
第16回: Lektion 10 動詞gehoren/gefallen  
第17回: Lektion 10 zu不定詞  
第18回: Lektion 10 接続詞  
第19回: Lektion 10 練習  
第20回: Lektion 11 受動態 (1)  
第21回: Lektion 11 受動態 (2)  
第22回: Lektion 11 関係文  
第23回: Lektion 11 練習  
第24回: Lektion 12 接続法2式 (1)  
第25回: Lektion 12 接続法2式 (2)  
第26回: Lektion 12 接続法1式  
第27回: Lektion 12 練習  
第28回: まとめ・練習  
第29回: まとめ・練習  
第30回: まとめ・練習  
第31回: 期末試験

この科目は対面授業と遠隔授業を行います。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著 (同学社)

オフィスアワー 木曜日3時限目

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043204) ドイツ語Ⅱ JE(4) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割 2023年度</b> 後期水2, 金4	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準 学士:基礎科目</b> <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局:</b> 大教センター <b>DPコード:</b> abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, アルベルスマリウス	<b>関連授業科目</b>		
	<b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。  上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て			

または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

**教科書・参考書等**

『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。

**オフィスアワー 授業後**

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043205) ドイツ語Ⅱ JE(5) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1~	
	<b>水準</b> 学士: 基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし	
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2		
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>			
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習				
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。				
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。				
<b>到達目標</b>				
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「a: 課題解決のための汎用的スキル」、「b: 広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。				
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価(70%)が中心になるが、小テストや宿題の提出状況(30%)を総合して成績評価を行う。				
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。				
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>				
<b>【授業の方法】</b> この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。				
<b>【授業計画】</b> 第1回: 前期のまとめ 第2回: Lektion 7 現在完了形 第3回: Lektion 7 時刻 第4回: Lektion 7 動詞の3基本形 第5回: Lektion 7 練習 第6回: Lektion 8 過去形 第7回: Lektion 8 序数 第8回: Lektion 8 履歴書 第9回: Lektion 8 練習				

- 第10回: Lektion 9 再帰代名詞
- 第11回: Lektion 9 形容詞 (1)
- 第12回: Lektion 9 形容詞 (2)
- 第13回: Lektion 9 練習
- 第14回: まとめ
- 第15回: 中間試験
- 第16回: Lektion 10 動詞gehoren/gefallen
- 第17回: Lektion 10 zu不定詞
- 第18回: Lektion 10 接続詞
- 第19回: Lektion 10 練習
- 第20回: Lektion 11 受動態 (1)
- 第21回: Lektion 11 受動態 (2)
- 第22回: Lektion 11 関係文
- 第23回: Lektion 11 練習
- 第24回: Lektion 12 接続法2式 (1)
- 第25回: Lektion 12 接続法2式 (2)
- 第26回: Lektion 12 接続法1式
- 第27回: Lektion 12 練習
- 第28回: まとめ・練習
- 第29回: まとめ・練習
- 第30回: まとめ・練習
- 第31回: 期末試験

この科目は対面授業と遠隔授業を行います。

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

『Sprechen und Verstehen』Florian Neumann 著 (同学社)

オフィスアワー 木曜日3時限目

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043207) ドイツ語Ⅱ M(7) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, アルベルスマリウス	<b>関連授業科目</b>		
	<b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習 (一回の授業に付き準備30分復習30分)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
ドイツ語の基礎を身につけることができる。 挨拶、自己紹介などの表現ができる。 ドイツ語検定試験5級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。  上記の目標は共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」及び「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 期末試験の評価が中心になるが、中間試験、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1)～(5) Lektion 7 (6)～(10) Lektion 8 (11)～(14) Lektion 9 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 10 (21)～(25) Lektion 11 (26)～(30) Lektion 12 (31) 期末試験			
この科目は全回対面授業を行います。なお状況によっては全て			

または一部の授業回の授業形態を遠隔へ変更する可能性があります。

**教科書・参考書等**

『ドイツ語インパクト〈ノイ〉』三宅恭子 / Michaela Koch著、三修社、2016年。

**オフィスアワー 授業後**

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Lx2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043208) ドイツ語Ⅱ M(8) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期月3, 木2	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 講義	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, 今崎 高秀	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 30回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。 (1) ガイダンス (2)～(14) 第12課～第14課 (15) 中間試験 (16)～(30) テキストの読解 (31) 期末試験  ※前期の進度に応じて、後期はテキストの読解を中心に行います(基本文法で構成される初級のテキストから中級レベルへと段階的に上げていきます)。  ※この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			

**【自学自習のためのアドバイス】**

前期と同じく毎回宿題を課しますので、必ず準備して授業に参加して下さい。

テキストの読解については、細かい訳語に拘るのは後回しにして、まずは文の構造（主語・動詞・目的語など）をしっかりと把握すること、そしてドイツ語が正しく発音できるように準備してください。

**教科書・参考書等**

『プロムナード やさしいドイツ語文法（改訂版・CD付）』

著者：荻原耕平・山崎泰孝

白水社

**オフィスアワー** オフィスアワーは特に設けていませんので、授業について質問等があれば担当教員のアドレスに遠慮なくメールしてください。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

授業では、二人、または二人以上で「パートナー練習」を行うことがある。日本人同士での練習を嫌がる傾向もあるが、練習と割り切って、協力して行うこと。また、自分から積極的に「話す、聞く」練習に取り組むこと。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-10-Ex2 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043209) ドイツ語Ⅱ M(9) German II German II	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 後期月3,木2	<b>対象年次</b> 1～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 対応なし
	<b>授業形態</b> 演習	<b>単位数</b> 2	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, 渡部 祐加	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 学習時間 授業90分 × 30回 + 自学自習 (準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> この授業では、日常生活に必要なドイツ語のコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を総合的に養成する。まず、日常生活で遭遇する個々のシチュエーションに即した表現を学び、練習を繰り返すことで、それぞれを確実に身につけ、さらに語彙を拡大する。また、個々のシチュエーションに関連して、ドイツ語圏(ドイツ、オーストリア、スイス)の文化的な背景についても理解を深める。			
<b>授業の目的</b> 異文化理解について開かれた態度をとれるようになるとともに、ドイツ語の基礎的なコミュニケーション能力(聞く、話す、読む、書く)を身につける。			
<b>到達目標</b>			
1. ドイツ語の基礎を身につけることができる。 2. 道を尋ねる、切符を買うなどの基本的表現ができる。 3. ドイツ語検定試験4級に合格できるドイツ語能力を獲得することができる。 4. 異文化理解について開かれた態度をとれるようになる。 これらは共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。			
<b>成績評価の方法と基準</b> 中間試験および期末試験の評価が中心になるが、小テスト、出席状態、宿題の提出状況を総合して成績評価を行う。 (出席と宿題を特に重視する)			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀 (90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優 (80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良 (70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可 (60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可 (60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
この授業は、週2回連続して行う。授業の進展や内容に合わせて、テキストのほかに補助教材(プリントなど)を使う。さらに小テストや中間試験を行い、随時宿題を課す(教科書は必ず買っておくこと)。また、比較的少人数の演習形式の授業で行うので、毎回の出席はもちろん、能動的な学習態度が要求される週2回の連続授業なので、進度も早く、学習内容も多い。従って、欠席が重なると授業についてゆけなくなるので、初歩の外国語だと思って甘く見ないように。中間試験や宿題は授業中に指示するので、欠席すると不利になることもあるから注意すること。また、ドイツ語を書く練習は、教室ではほとんど出来ない。家で、ドイツ語の語彙、表現を良く書いて練習すること。			
この科目は基本的に対面授業を行います。一部の授業回では遠隔授業を行います。なお状況によっては授業形態を全て対面または遠隔へ変更する可能性があります。			
(1) ガイダンス (2)～(5) Lektion 1 (6)～(9) Lektion 2 (10)～(14) Lektion 3 (15) 中間試験 (16)～(20) Lektion 4 (21)～(25) Lektion 5 (26)～(30) Lektion 6 (31) 期末試験			

**【自学自習のためのアドバイス】**

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**【特に意欲のあるものへの対応】**

特に意欲のあるものが数人以上集まった場合は、希望に応じてオンラインで補講を行う場合がある。また、ドイツ語学習に対して特に意欲的で学習に対する目標を持っているもの（独検合格を目指しているもの、ドイツ留学を目指しているもの等）に対しても個別に学習のアドバイスをする場合がある。

**教科書・参考書等**

必携ドイツ文法総まとめ  
中島 悠爾（著）、朝倉 巧（著）、平尾 浩三（著）  
白水社

**オフィスアワー** その都度質問・相談はメール、その場で対応する。（質問・相談がある場合は、なるべく授業後すぐに連絡してもらおうとその次の授業で詳しく説明することができるし、必要がある場合はほかのメンバーと共有することができる）。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

成績評価として出席を特に重要視する。ただしオンライン授業のなかで指名したときに、断りもなく席をはずしているということがわかったものはその時点でその授業を欠席とする。遅刻は3回で欠席1回とする。その他、個別のケースに対応する場合があるので、やむをえない事情を考慮してほしい場合はその都度メール及び口頭で渡部まで相談すること（特に重要な用件はメール等文章で相談してほしい）。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-1N-Le1 <b>授業科目名</b> (時間割コード:043301) ドイツ語Ⅲ(1) German III ドイツ語圏の文化に親しむ	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月2	<b>対象年次</b> 2～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム
	<b>授業形態</b> 講義 e ラ ーニング	<b>単位数</b> 1	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, 田淵 昌太	<b>関連授業科目</b> ドイツ語Ⅲ(2) <b>履修推奨科目</b> ドイツ語Ⅲ(2)		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間)			
<b>授業の概要</b> ドイツ語ⅠⅡで習得した文法知識を生かして、実際にドイツ語の文章(物語・昔話・伝説・民俗・ドイツ歌曲の歌詞など)を読む。読解教材は、ドイツ語を学ぶ外国人のためにドイツで作成された初学者向けのものを中心に扱い、最終的にヨーロッパ言語共通参照枠A2レベルの文章を読む力を養うことを目指す。			
<b>授業の目的</b> 1 初級文法の復習を織り交ぜながら実際にドイツ語の文章を読み進めることにより読解力を向上させる。 2 読み取ったドイツ語文の内容を日本語で正確に表現する(和訳する)ことにより、自らの考えを整理し、的確に伝達する術を身につける。 3 ドイツ語学習を通して、ドイツやオーストリアといったドイツ語圏の国々の歴史や文化に親しみ、そうした異国の文物に対して自分なりの意見を持つことができるようになる。			
<b>到達目標</b>			
1 辞書を引く習慣を身につけ、辞書を使いこなすことができるようになる。 2 筋道だてて考える姿勢を身につける。 3 平易なドイツ語の文を自力で読むことができるようになる。 4 読み取ったドイツ語の文の内容を日本語で的確に表現できるようになる。 (以上4項目は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応する。) 5 ドイツ語圏の文学・歴史・食文化・音楽などに親しむ。 6 異文化を理解する姿勢(広い視野と柔軟な思考)を培う。 (以上2項目は、共通教育スタンダードの「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応する。)			
<b>成績評価の方法と基準</b> 評価項目とその割合は、おおむね以下のとおりとする。 授業準備の充実度・積極的な授業参加:50% (到達目標1・2・3・4・5・6と関連) レポート・提出物:20% (到達目標5・6と関連) 筆記試験:30% (到達目標1・2・3・4と関連) ※ 教室に出てきているだけで「出席点」に類する得点が与えられることはない。 ※ 授業中に授業と関係のないことをしている場合には欠席扱いとなり、「積極的な授業参加」の項目から減点される。 ※ レポートなどの提出物については授業内で随時、指示する。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業計画】</b> 第1回 「はじめまして」の歌 [音声聴取] 《歌》 第2回 「夏と冬の起源」第1章 [読解] 《物語》 第3回 「夏と冬の起源」第2章 [読解] 《物語》 第4回 「夏と冬の起源」第3章 [読解] 《物語》 第5回 「夏と冬の起源」第4章 [読解] 《物語》 第6回 「夏と冬の起源」第5章 [読解] 《物語》 第7回 「夏と冬の起源」(まとめ) [読解] 《物語》			

第8回 「月の男」 (前半)	[読解] 《昔話》
第9回 「月の男」 (後半)	[読解] 《昔話》
第10回 ドイツの農家の朝ごはん	[映像視聴]
第11回 「ハーメルンのねずみとり男」 (前半)	[読解] 《伝説》
第12回 「ハーメルンのねずみとり男」 (後半)	[読解] 《伝説》
第13回 「ドイツの祭り」 (前半)	[読解] 《民俗》
第14回 「ドイツの祭り」 (後半)	[読解] 《民俗》
第15回 「菩提樹」	[読解+音声聴取] 《歌曲》
第16回 試験	

- ※ 授業進度には多少のずれが生じる場合があります。
- ※ 受講生と相談のうえ、取り扱う教材を変更する場合があります。

#### 【自学自習のためのアドバイス】

- ・ 読解の授業については、しっかり辞書を引いて予習し、自分なりの訳文をきちんとノートに作成したうえで授業に参加するようにしましょう。
- ・ 予習の際に、どこが分からないのかをはっきりさせておき（疑問点の整理）、その疑問点を解決するために授業に出てくるようにするといいでしょう。
- ・ 訳文を作成する場合には「誰が」「何を」「どうする」のか、はっきり分かるように書いてください。特に「主語」と「述語動詞」を明確に把握しておくことが大切です。

#### 教科書・参考書等

- ・ 教科書を購入する必要はありません。
  - ・ 教材は、すべて印刷物を配布するので、自分で整理して保管しておいてください。  
(教材「夏と冬の起源」は第1回の授業で配布します。)
  - ・ 辞書は『アポロン独和辞典 [第4版]』(同学社 2022)など、書籍形態のものをお勧めします。
- ※すでに辞書を持っている人は、改めて買い直す必要はありません。  
 ※これから辞書を買うのであれば『アポロン独和辞典 [第4版]』など、50000語以上の語彙を収載するものにしてください。

**オフィスアワー** 質問等のある者は授業前後の休み時間に申し出ること。その都度、対応する。

#### 履修上の注意・担当教員からのメッセージ

- ・ なるべく電子辞書ではなく書籍形態の辞書を使うようにしてください。
- ・ 授業中の私語は厳禁。スマートフォンなどの電源は切っておくこと。  
教室に出てくる以上は、授業と関係のないことはやらないようにしてください。
- ・ 熱意あふれる諸君の受講を期待しています。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-axxG-1N-Ex1 <b>授業科目名</b> (時間割コード: 043302) ドイツ語Ⅲ (2) German III ドイツ語運用能力の基礎固め	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期木3	<b>対象年次</b> 2～	
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> : 大教センター <b>DPコード</b> : axx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 ネット・プログラム	
	<b>授業形態</b> 演習	<b>単位数</b> 1		
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン, 田淵 昌太	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>			
<b>学習時間</b> 授業90分×15回 + 自学自習(準備学習15時間+事後学習15時間)				
<b>授業の概要</b> 授業は教科書に沿って行われる。ドイツ語Ⅰ、ドイツ語Ⅱの内容を復習し、重要箇所の基礎固めを行う。				
<b>授業の目的</b> 1 基本的な事柄から丁寧に学び直していくことで、ドイツ語学習の過程で生じた消化不良を解消する。 2 辞書を使いながら、平易なドイツ語の文を読むことができるようになる。 3 辞書を使いながら、簡単なドイツ語の文を書くことができるようになる。 4 習得した文法知識を生かして、簡単な会話ができるようになる。				
<b>到達目標</b>				
1. 動詞の変化を理解する。 2. 冠詞類の格変化を理解する。 3. 前置詞を使いこなせるようになる。 4. 助動詞を使いこなせるようになる。 5. 現在完了形を使いこなせるようになる。 (以上5項目は、共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」に対応する。)				
<b>成績評価の方法と基準</b> 授業準備の充実度・積極的な授業参加 50% (到達目標1・2・3・4・5と関連) 期末試験(筆記試験) 50% (到達目標1・2・3・4・5と関連)  ※ 教室に出てきているだけで「出席点」に類する得点が与えられることはない。 ※ 授業中に授業と関係のないことをやっている場合には欠席扱いとなり、「積極的な授業参加」の項目から減点される。				
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。				
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>				
<b>【授業計画】</b> 第1回 発音の基礎 第2回 第1課 動詞の現在人称変化 / 語順 第3回 第2課 名詞の性 / 定冠詞の格変化 第4回 第2課 不定冠詞の格変化 第5回 第3課 定冠詞類 / 不定冠詞類 第6回 第4課 幹母音変化の動詞 第7回 第5課 人称代名詞 第8回 第5課 前置詞(概説) 第9回 第5課 前置詞(前半) 第10回 第5課 前置詞(後半) 第11回 第6課 話法の助動詞(前半) 第12回 第6課 話法の助動詞(後半) 第13回 第9課 複合動詞 第14回 第10課 現在完了形 第15回 第10課 現在完了形				

- ※ 第1回から授業を行いますので、教科書・辞書・ノートなどを持参してください。
- ※ 第1回授業に限り、授業準備は不要です。
- ※ 授業進度には多少のずれが生じる可能性があります。
- ※ 教科書の内容は取捨選択して扱います。

**【自学自習のためのアドバイス】**

- ・事前準備をきちんと行い、どこが分からないのかをはっきりさせたい（疑問点の整理）、その疑問点を解決するために授業に出てくるようにするといいでしょう。
- ・分からないところを放置せず、教員に質問して必ず解決するようにしましょう。

**教科書・参考書等**

**【教科書】**

神竹道士ほか『プレーミエ ドイツ語総合読本 [改訂版] (CD付)』（白水社 2021）本体2,400円

**【参考書】**

根元道也ほか『アポロン独和辞典 [第4版]』（同学社 2022）本体4,200円

※ すでに辞書を持っている人は、改めて買い直す必要はありません。

※ これから辞書を買うのであれば、なるべく『アポロン独和辞典 [第4版]』にしてください。

**オフィスアワー** 質問・相談等のある者は授業前後の休み時間に申し出ること。その都度、対応する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

- ・なるべく電子辞書ではなく書籍形態の辞書を使うようにしてください。
- ・毎回の授業準備が欠かせません。頑張って、きちんと準備をしたうえで授業に参加しましょう。

<b>ナンバリングコード</b> B2DEU-abxG-1N-Ex1 <b>授業科目名</b> (時間割コード:043401) ドイツ語会話Ⅲ German Conversation III German Conversation III	<b>科目区分</b> 外国語科目	<b>時間割</b> 2023年度 前期月1	<b>対象年次</b> 2～
	<b>水準</b> 学士:基礎科目 <b>分野</b> ドイツ語	<b>提供部局</b> :大教センター <b>DPコード</b> :abx	<b>対象学生</b> 全学生 特定プログラムとの対応 ネクス・プログラム
	<b>授業形態</b> 演習	<b>単位数</b> 1	
<b>担当教員名</b> ノイマン フロリアン	<b>関連授業科目</b> <b>履修推奨科目</b>		
<b>学習時間</b> 授業90分 × 15回 + 自学自習(準備学習30時間+事後学習30時間)			
<b>授業の概要</b> この授業は日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになることを目標とする。文法中心速く進むとより、学んだ文法を自然に使えるようになることを優先する。一年目で学んだ基礎文法とパターンを繰り返し練習するので、教科書は必ずしも終わらせる必要はない。言語だけではなく、ドイツ事情(歴史、地理、文化、政治など)について話し合う。			
<b>授業の目的</b> 日常生活に必要な基礎的ドイツ語会話ができるようになる。文法の基本を修得する。			
<b>到達目標</b>			
約1000語の語彙練習を前提としてのドイツ語の会話ができる。 (共通教育スタンダードの「課題解決のための汎用的スキル」、「広範な人文・社会・自然に関する知識」に対応。)			
<b>成績評価の方法と基準</b> 評価は試験だけでは行わない。授業中に積極的に発表するなどの授業参加態度を重視する。50%は授業中の積極性、残りは口頭及び筆記試験により評価される。			
<b>成績評価の基準</b> 成績の評価は、100点をもって満点とし、秀、優、良及び可を合格とする。各評価基準は次のとおりとする。 秀(90点以上100点まで) 到達目標を極めて高い水準で達成している。 優(80点以上90点未満) 到達目標を高い水準で達成している。 良(70点以上80点未満) 到達目標を標準的な水準で達成している。 可(60点以上70点未満) 到達目標を最低限の水準で達成している。 不可(60点未満) 到達目標を達成していない。 ただし、必要と認める場合は、合格、了及び不合格の評語を用いることができる。その場合の評価基準は次のとおりとする。 合格又は了 到達目標を達成している。 不合格 到達目標を達成していない。			
<b>授業計画・授業及び学習の方法・準備学習及び事後学習のためのアドバイス</b>			
<b>【授業の方法】</b> 会話の練習を積み重ねる。			
<b>【授業計画】</b> 第1回: ガイダンス 第2回: Lektion 1自己紹介 第3回: Lektion 2会話場面1(助動詞・未来形) 第4回: Lektion 3会話場面2(現在完了形・過去形) 第5回: Lektion 4 会話場面3(時計・命令形・依頼表現) 第6回: Lektion 5 会話場面4(前置詞) 第7回: Lektion 6 まとめ・練習 第8回: 発表?練習(1) 第9回: 発表?練習(2) 第10回: Lektion 7 会話場面5(レストランに) 第11回: Lektion 8 会話場面6(店・ホテルに) 第12回: Lektion 9 会話場面7(駅・空港に) 第13回: Lektion 10会話場面8(大学に) 第14回: 発表?練習(3) 第15回: 発表?練習(4) 期末試験			
この科目は状況に応じて対面授業と遠隔授業を行います。			
<b>【自学自習のためのアドバイス】</b>			

語学に王道はありません。単語や文を発音したり紙に書いたりして、地道に語彙をインプットして行ってください。

**教科書・参考書等**

プリント配布

**オフィスアワー** 初回の授業で説明する。

**履修上の注意・担当教員からのメッセージ**

会話の授業なので、積極的な参加態度が求められる。